

災害廃棄物の再生利用等に関するアンケート調査結果(発送数70のうち、回答数35)

資料5

工場種	従業者数	業種	主な製品	現状の再生利用に関する取組内容						災害廃棄物再生利用に関する協力可能性				自由記述	
				取組有無	種類(複数可)	利用量(t/日)	最大量(t/日)	制約要件	内容(複数可)	協力有無	種類(複数可)	内容(複数可)	制約要件(記載あり)		
木質ボード・合板工場(1/2)	100~299人	木材・木製品	合板	×							×				
肥料工場(5/8)	21~99人	その他(廃棄物処理業)	RPF	○	紙,木,プラ,	10	21	あり(1.5m以下、塩素が含まれていない)	発電		×				
		その他(サービスマス業、廃棄物処理業)	一般及び産廃廃棄物中間処理業	○	紙,木,プラ,汚泥,他(食品廃棄物)	140	190	あり(Cr,Pb,Hg等の有害物質の混入)	発電、他(メタン60%含んだバイオガスと発電)		○	紙,木,プラ,汚泥,可混,量	発電	あり(量) 災害発生場所による。近隣であれば現在受け入れている排出業者も被災している。遠方であれば、処理余力は少ない。 あり(場所) 処理余力がある場合、持込みしていただけるのであれば引取り処理します。 あり(他) 大きな災害発生時は、個々に情報交換するのではなく、市町村経由で情報交換すべき。	災害の種類、内容によるが、定格処理量以上及び排ガス規制以上の緩和処置がない限り、処理は難しい。民間企業は常に定格処理量いっぱいでの運転を常に目指しているため。
	~20人	肥飼料	有機肥料	○	汚泥,他(動植物性残渣)	10	34	あり(水分の高いもの、腐敗が進んでいるもの)	肥料		○	汚泥	肥料	あり(量) 日量10t あり(場所) 弊社の許可取得県以外での発生場所は、基本的に協力できません。 あり(他) 許可要件を満たしていないものについては扱えません。	
	~20人	その他(堆肥化、木材破碎(中間処理)、原料チップ)	バーフ堆肥(しらさぎ2号)製紙原料(木材チップ)	○	木,汚泥	100	200	あり(特に、土砂混じりは不可。異物混入(木くず以外))	合板		○	木	合板	あり(量) 処理後物置場があふれてしまうのと受入ができない処理後物が一定の品質規格を保持できること。 あり(場所) 持ち込みの場合、制約はないが、引取りの場合、半径50km程度まで。ただし、状況によってはもう少し遠方でも対応する。 あり(他) 再生利用できる性質のものであること。	・災害廃棄物は一般廃棄物として扱われると対応ができないので、受入時に事務処理ができなくなることが考えられる。 ・同様に産業廃棄物としても扱いが難しい。 ・処理には費用が発生するが、請求先などの確立が前もって欲しい。

工場種	従業者数	業種	主な製品	現状の再生利用に関する取組内容						災害廃棄物再生利用に関する協力可能性				自由記述
				取組有無	種類(複数可)	利用量(t/日)	最大量(t/日)	制約要件	内容(複数可)	協力有無	種類(複数可)	内容(複数可)	制約要件(記載あり)	
	~20人	肥飼料		○	他(動植物性残渣)	2	6	あり(水分が80%以上がダメ)		○	他(動植物性残渣)			
炭化工場(1/2)	21~99人	その他(廃棄物中間処理業、焼却発電施設)	・発電 ・炭化製品	○	紙,がれき,コンクリ,金,木,プラ,汚泥,他(廃油、廃酸、廃アルカリ)	90	190	あり(打合せ要)	発電	○	紙,がれき,コンクリ,金,木,プラ,汚泥,可混,不混,津波,畳,魚網	発電	あり(量) あり(他) 打合せ要	
金属製錬工場(5/9)	300人以上	鉄鋼・非鉄	厚板鋼板、薄板鋼板、線材	○	金			あり(亜鉛など微量成分。水は含まない方がよい)	金属	×				
	300人以上	鉄鋼・非鉄	継目無鋼管、鋼板	×						○	金	金属	あり(他) 廃棄物処理業の許可を未取得	災害復興を早期に行う観点より、廃棄物処分量の許可や廃棄物処理施設に限定しない処理を一時的に認めていただくことや、処理にかかる費用の補助、あつせんの面でバックアップを期待します。
	300人以上	鉄鋼・非鉄	薄板(熱延鋼板、冷延鋼板)	○	金(購入できる品位を有するもの)、他(日本自動車タイヤ協会傘下企業からの廃ゴムタイヤ)			あり(鉄鋼製造し悪影響の出る性状・品質は不可)	金属	○	金(当所要求の性状・品質を有するもの)、他(当所要求の性状・品質を有する廃ゴムタイヤ)	金属	あり(量) 災害時に当所が理由できる量以内(現時点では量提示はできない) あり(場所) 金属くずは当所関連の金属くず取扱会社経由での受入が必要、廃タイヤは日本自動車タイヤ協会傘下企業で事前処理が必要 あり(他) 鉄鋼製品の品質に悪影響を与える品位のものは不可、廃ゴムタイヤは事前に所定寸法の切断が必要	
	300人以上	鉄鋼・非鉄		×						×				

工場種	従業者数	業種	主な製品	現状の再生利用に関する取組内容						災害廃棄物再生利用に関する協力可能性				自由記述
				取組有無	種類(複数可)	利用量(t/日)	最大量(t/日)	制約要件	内容(複数可)	協力有無	種類(複数可)	内容(複数可)	制約要件(記載あり)	
	100～299人	鉄鋼・非鉄	塗装鋼板、鋼板製品(物置、建材など)	×						×				
木質バイオマス発電施設(2/3)	～20人	木質バイオマス	売電	×						○	木	発電	あり(量) チップ化された木質燃料(有価物として買取) あり(場所) 持ち込みに限る	
	100～299人	その他	食塩	×						×				
チップ・ペレット工場(3/10)	～20人	木材・木製品	木材チップ	○	木	250	360	あり(木材のみ)	紙,合板,熱	○	木	紙,合板,熱	あり(量) 360t以下(日量)	
	～20人	木材・木製品	製紙原料,木材燃料,堆肥原料	○	木	30	140	あり(幹は末口15cm以上、枝打ちしたもの、長さ2m～6mに限る)	紙,合板,肥料,熱,発電	○	木	紙,合板,肥料,チップ,熱,発電	あり(他) 受入時間AM8:30～PM5:00(日・祝は休み)	
	21～99人	木材・木製品	製材品、ペレット、木製品	○	木	0.3	0.3	あり(木皮が不純物の入っていないおが粉かかんなくず(国産材に限る))	チップ	×				
	100～299人	その他(プラスチック製品製造業)	ポリプロピレンフィルム	×						×				同工場はフィルム専用工場であり、製紙は行っていません。

工場種	従業者数	業種	主な製品	現状の再生利用に関する取組内容						災害廃棄物再生利用に関する協力可能性				自由記述	
				取組有無	種類(複数可)	利用量(t/日)	最大量(t/日)	制約要件	内容(複数可)	協力有無	種類(複数可)	内容(複数可)	制約要件(記載あり)		
製紙工場 (5/13)	100~299人	パルプ・紙	洋紙製造	×							×				弊社は製紙会社ですが、化学工業的な業を行っており、紙の製造は行っておりません。由ってアンケートの回答は、しておりません。
	300人以上	パルプ・紙	感熱紙、NCR紙、インクジェット紙、不織布	×							×				工場より委託している処理業者が、通常通り廃棄物を受け入れられるとのこと。
	100~299人	パルプ・紙	原紙(段ボール原紙、紙管原紙)	○	紙他 段ボール古紙	20~30	20~30	あり(油汚れないこと、石鹼臭・線香臭のないもの)	紙	○	紙、他(段ボール古紙)	紙、熱	あり(量) 現実的には20~30t/日(古紙) あり(他) 古紙(有価物)として引き取る場合は、古紙業者経由でないと引き取りできない。		阪神淡路大震災の際は、木くず等の災害廃棄物を受け入れ、焼却処理した実績があります。今後同様の依頼があれば、対応を検討いたします。
セメント工場 (1/1)	100~299人	窯業・土石	各種セメント	○	紙、がれき、コンクリ、木、プラ、汚泥、他(燃え殻、廃油、廃アルカリ、銻さい、ばいじん他)	2,800	4,440	あり(金属異物混入不可、サイズ50mm以下、塩素濃度・重金属濃度等同社指定値以下)	土木(セメント)	○	紙、がれき、コンクリ、木、プラ、汚泥、可混	土木(セメント)	あり(量) セメント焼成炉稼働状況や他の廃棄物の受入状況により受入量の制約が発生 あり(他) 地元住民、地元行政の同意が必要		協力による相応(他の廃棄物の受入減等)の費用負担。国及び発生元自治体主導による地元住民、地元行政への同意形成対応。災害廃棄物の受入により同様に被害・損害が発生した場合の補償(例:設備故障、放射線等の予期せぬ汚染によるトラブル、その他セメント製造への支障)
滋賀県リサイクル認定製品工場 (1/3)	~20人			○	コンクリ、木	5	300	なし	土木、金属、チップ、他(木質加熱アスファルト合材)	○	コンクリ、木	土木、金属、合板、チップ、他(木質加熱アスファルト合材、炭原料)	あり(量) 引取り場所はあるが、処理能力の関係で長期に引取り場所に持ち込まれたものが置かれる可能性がある。 あり(他) 自社請負分だけの処理施設である		リサイクルされた資源を利用する工事も同じように考えていくことがなければ、大量に発生した廃棄物の新たな問題が発生する。
	4	その他(リサイクル製品骨材)	再生砕石、改良土	×						○	がれき、コンクリ、金、汚泥	他(再生砕石などのリサイクル品)	なし		

工場種	従業者数	業種	主な製品	現状の再生利用に関する取組内容						災害廃棄物再生利用に関する協力可能性				自由記述
				取組有無	種類(複数可)	利用量(t/日)	最大量(t/日)	制約要件	内容(複数可)	協力有無	種類(複数可)	内容(複数可)	制約要件(記載あり)	
大阪府リサイクル認定製品工場(4/9)	~20人	その他(産業廃棄物中間処理業)	再生砕石(RC、RM、路盤材)建設残土の土質改良土)	○	がれき,コンクリ	720	720	あり(有害物質を含まないこと)	土木	○	がれき,コンクリ,他(建設残土)	土木,他(改良土)	あり(量)日量720t/日	①入口のがれき類(コンクリートガラ)の数量予定 ②出口の再生処理の使用予定数量(需要と供給)にアンバランスが生じると、受入が制限されることが懸念される。
	~20人	その他(産業廃棄物の中間処理業)	再生砕石、再生砂、改良土	○	がれき	500	320	あり(形状は固形にて30×30×30cm以下。有害物受入不可。瓦・レンガ・スレート受入不可)		○	がれき		あり(量)日量320t以下 あり(場所)工場所在地と同一県内(大阪府)あり(他)ゴミ・木片・プラスチックとの分別が必要です。	災害廃棄物の集積場所とともに、再生品の置場を確保していただきたい。例えば、各工場の置場等、決済も各地方自治体としていただければよい。
	100~299人	その他(再生砕石)	RC-30(再生砕石)、RC-40	○	がれき	700	1125	あり(固形状・バラ、コンクリートガラのみ、アスファルト・レンガ等は受入不可)	土木	○	がれき	土木	なし	がれき類のみを取り扱っている工場なので、それ以外は受入は不可となりますが、受け入れ可能なものは積極的に対応させていただきます。ただ、リサイクル品となる「RC-30、40」を搬出できる現場(行き場)がどんどん減少してきており、遺棄場所を(RCを使用できる現場)作ってほしい。また、RCの新たな需要を検討願います。
~20人	その他(再生砕石 RC40)	再生砕石 RC40	○	がれき,コンクリ		320	あり	他(再生クラッシャーラン)	○	がれき,コンクリ	他(再生クラッシャーラン)	あり(量)ストックヤードの稼働状況により受入できない場合有		
~20人	その他(中間処理業(破砕))	再生クラッシャーラン	○	コンクリ	100	352	あり(コンクリートガラ、アスファルトガラの受け入れ)	他(再生クラッシャーラン)	×					
~20人	その他(製造業(燃料、チップ堆肥))	木質バイオマス燃料、チップ堆肥	○	木,他(コンクリート、アスファルトコンクリートに限る)		木くず 53 Co,As 120	なし(協議有)	肥料,チップ	○	木,他(コンクリート、アスファルトコンクリートに限る)	土木,肥料,チップ	あり(量)破砕能力以上の受け入れは不可。 あり(場所)近畿圏内のみ あり(他)性状により受入不可		

工場種	従業者数	業種	主な製品	現状の再生利用に関する取組内容						災害廃棄物再生利用に関する協力可能性				自由記述
				取組有無	種類(複数可)	利用量(t/日)	最大量(t/日)	制約要件	内容(複数可)	協力有無	種類(複数可)	内容(複数可)	制約要件(記載あり)	
奈良県リサイクル認定製品工場(7/9)	21~99人	その他(中間処理施設(チップ)建廃)	木質チップ(燃料用、原料用)	○	がれき,コンクリ,木,汚泥	2000	3056	あり(無機性のものに限る)	紙,土木,チップ,熱,発電	○	がれき,コンクリ,木,汚泥	紙,土木,チップ,熱,発電		
	21~99人	窯業・土石	粘土瓦	○	他(粘土瓦)	4	10	あり(大きさに限度有)	土木	○	コンクリ	土木	あり(量)5t以下でないとき取り取れない あり(他)廃棄物処理資格がない	廃棄処理認可が自治会より取れていない。
	~20人	その他(産業廃棄物中間施設)	再生砕石 Rc40、Rm30 再生砂 Rc-10	○	がれき,コンクリ	500	600	あり(アスベスト含有物、不純物の多いものは不可)	土木	○	がれき,コンクリ	土木	あり(量)1000t/日以下であること あり(他)不純物等(アスベスト等)を含むものは不可。	
	21~99人	窯業・土石	土木資材(再生CR、CR、山土類)生コン用骨材	○	がれき,コンクリ,他(アスファルトガラ)	200	1600	なし	土木、他(道路用路盤材(RC, RM))	○	がれき,コンクリ,他(アスファルトガラ)	土木,他(道路用路盤材(RC, RM))	あり(量)受入可能日量500t程度	受入数量は500t/日可能ではあるが、処理後製品の置場の確保が困難になる。受入と生産、出荷のバランスが必要であり、製品化したものを随時、排出できればいいのですが、排出の見込みがなければ受入も難しくなる(廃材置き場に限りがあるため)。
和歌山県リサイクル認定製品工場(0/1)														